

## 古蔵こども園 事業報告

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 令和 3 年 3 月 31 日

### 事業の総括

平成 30 年度 4 月 1 日より、社会福祉法人豊春福祉会立 古蔵こども園が開園致しました。119 名の園児が入園して、平成 31 年 3 月 15 日「修了式」にて、89 名の年長児が無事に卒園を迎えることができました。

職員が一丸となって、こども園の遊びの環境や園庭の環境整備に力を注ぎ、園児や保護者、地域の方々に喜んでもらえるように努力致しました。また、古蔵小学校の敷地内に隣接していることは、幼児教育から小学校への円滑な接続がスムーズに行う良い環境といえます。小学校との連携では、5 年生による読み聞かせや給食体験、一年生の授業見学・合同運動会・学習発表会の見学等を行う事が出来ました。

初年度は大きな問題が 2 件ありまして、緊急に問題解決に取り組みました。一つは給食室の建設です。建設工事が 7 月頃からの為、4 月はなかよし給食センターからケータリングをしていましたが、この時期、一気にこども園が増えたため、食材が痛んだり異物混入などもあり、新聞にも取り上げられたりしていました。安心安全な給食の提供が出来なくなり、5 月からはこくら保育園に協力してもらい、厨房設備でこども園の園児の給食を提供してもらいました。全職員は弁当の協力をし、調理員を増やすなどして緊急対応を致しました。

小学校の協力のもと給食室の工事をすすめ、9 月からは自園調理をスタートさせ、「安心安全」な食事の提供をすることができました。食材にはこだわりを持って美味しい給食を提供しています。

二つ目はこども園への水道直結の工事です。給食室完成と共に、毎日飲む飲料水の塩素濃度の数値が不適合という問題が発生しました。平成 31 年 3 月に小学校の水道管と切り離して、安心安全な水の提供が出来るようになりました。

また、働きやすい職場を目指してノー残業・事務軽減を図り、パソコンを導入し・年休の消化率を上げる等離職防止に努めています。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、保育活動や地域・小学校との連携が、余儀なく中止や延期になりました。

保護者も玄関先の送迎で、保育室での様子を見る事ができない状況でした。コロナ禍でも出来ることは何かと職員間で話し合い、毎日の園での子ども達の様子をブログや DVD で発信する事にしました。

体育遊び・給食・表現遊び・生活発表会等、生き生きした様子をクラス毎に撮影して、子ども達の成長を伝え、保護者にも喜んでもらえる事が出来ました。

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況ではありますが、日常の感染予防対策では、「古蔵こども園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を作成し、「新しい生活様式」として一人ひとりの「基本的感染対策」を徹底して行い、感染源を絶つように努めています。

こども園も 4 年目を迎え、2 回目の第三者評価を受審致します。

園の理念「子どものやってみたいと、体験を大切にする」や教育目標の「創造力豊かで 主体的に生活できる子」を保護者の皆様にも理解して頂き、就学に向けて園児一人ひとり、丁寧な教育・保育を提供していきます。

また、園内の体育備品、固定遊具の充実を図り、体育遊びは外部講師の指導を取り入れ、園児の体力強化にも力を入れていきます。

これからも園児や職員の安全を第一に考え、園業務に取り組んでいきたいと思えます。

## 具体的実施事項

- 1、 保育園、こども園職員交流
- 1、 園内研修を開催
- 1、 発達支援保育事業の実施
- 1、 延長保育・一時預かりの実施
- 1、 食育の実施
- 1、 保護者相談事業の実施(育児・栄養)
- 1、 地域活動事業の実施
- 1、 園庭開放の実施
- 1、 ボランティアの受け入れ
- 1、 保育士養成校の実習生受け入れ